

広島県知事の湯崎です。

9月1日からの対処方針のポイントについてです。

今回、国において、新型コロナの感染状況悪化を示す基準が示されたことをふまえて、県では、県独自のアクションを起こす、目安となる基準を設定しました。

国はステージ3で外出自粛や休業要請などの行動制限を想定していますが、第1波のときのように行動制限を行えば、県民の日常生活、社会経済活動への影響は非常に大きくなります。

県としては、その段階に至る前に、感染拡大防止に向けた対策を強化し、日常生活を続けられる状態を維持していきたいと考えています。

その独自警戒基準の内容ですが、具体的には

- ・1日当たり16人の新規感染者が発生する状況や
- ・入院やホテル療養をされている方の数が、1日当たり約170人になる状況となります。

そのほか、ピーク時の入院ベッド数のひっ迫具合や感染経路不明者の割合なども基準値を設けました。

警戒基準値に達するような場合には、感染の経路やクラスターの発生状況など、感染が広まっている要因を総合的に分析しながら、場合によっては対象を絞って対策を強化します。

県民の皆様、事業者の皆様、そして、行政が一丸となって、広島県を積極的に新型コロナから守っていきましょう。

皆様のご協力をお願いいたします。